



入中だより

令和 4 年 6 月 30 日

No 5 熊野市立入鹿中学校

<http://www.kumano-city.ed.jp/jsiruka/>

★入鹿中学校区人権フォーラム開催 6/28(火)

中田重顕さん、倉本宣男さんによる講話「今、戦争について考える」が開催されました。中学校区での人権フォーラムということで、小学5・6年生も一緒に参加しました。戦争の体験のない子どもたち、そして私たち教師にも、中田さん、倉本さんの話を実際に聞くことができたのは、大変、貴重な機会となりました。話される声や体全体から出されている雰囲気、その思いを感じさせていただきました。



《生徒の感想》 一部抜粋



・憲法 9 条のおかげで戦争をしなかったのが、戦死者を出さずに 77 年間日本はこられたのがよかった。戦争を経験している人としていない人での「戦争を二度としてはいけない」というセリフの重みが違って感じた。(中略) 今またウクライナで戦争が起きて、大切な人や友人をなくしている人が沢山いて、悲しんでいるということが改めて分かった。日本が戦争をしないため、未来のために自分たち一人ひとりが平和のために行動しなければならないと思った。(蒼天)

・戦争について今までまじまじと考えたことはなかった。今ウクライナでひどい戦争が行われていて、テレビで見るたびにすごく心が痛くなるし、もし自分がこんなことになったらとか考えるだけでつらいのに、出た人たちはこんな中、行くしかないという気持ちだけで行くのはとてもすごいことだと思う。私は 18 才になったら選挙権があるので、しっかり国民のためにどの人がいいのか、どんな政治にしたいのかしっかり考えて行動していきたいです。また、いろいろな人にこの話を伝えていきたいです。(菜緒)

・「戦争をしても、誰も得をしない」という言葉が強く心に残りました。どれだけ強く、軍事力のある国であっても、得をすることはないし、父や母、兄弟などが戦争で死んでしまうことが多いと分かり、自分がもしその時代に生きていたら・・・と考えるだけで戦争はしてはいけないのだと感じ、怖くなります。これから戦争が二度と繰り返されないように、話をしっかり覚えておかなければいけないと思いました。(雪子)



なかたしげあき
中田重顕さん

・今日は貴重な体験ができてよかったと思います。ためになった点は、そのころの日本は、勝つことしか考えられなかったということです。今は平和主義と言っていそうだけど、昔は勝つためにはどんな犠牲も気にしない感じで、こんなに失っても勝つためには気にはならないと思っている昔の日本は少し納得しないというか、いやだと思います。若い人が亡くなっていく時代はもう繰り返してはならないと思いました。(衛)



くらのもとのぶお
倉本宣男さん

・男性は15,6才で戦争に行くというのを聞いて、もし自分とすると、あと2年後に戦争に行くとなったらいやだと思います。(中略)次またこんなことがないように自分にできることをしていきたいと思います。今日は、中田さん、倉本さんの話を聞けて良かったです。ロシアとウクライナで戦争をしているので、早く平和な世界になってほしいです。(海晴)



・心に残ったのはいろんな人へのインタビューです。普段は無口なおばあさんが怒りを表していたり、一人一人の思いを聞いたりして、相当つらかったんだなと思いました。(中略)私は世界が平和になるために、日本だけでなくどこの国も戦争しないというのが良いと思います。(羅稟)

・「軍国の母」「軍国の祖母」が人前で泣いてはいけないというのに驚きました。もし私が戦争の場面において、軍国の母や祖母の立場だったとき、泣くのを耐えるのは無理だと思います。私も小さいころに大切な人を亡くしたことがあります。その時、私の目からたくさんの涙が出ました。あと告別式やお通夜の時に「おめでとうございます。」と言われていたというのに驚きました。いくらお国のために亡くなったとしても、私は嫌だなと思いました。今はそのような挨拶はなくなり、その場にふさわしい言葉になったので、良かったと思いました。(雛籠)



おもな行事予定

◎7月22日(金)に、野外活動として、熊野川町 小口の自然の家に行きます。

・予備日:27日(水)

・詳細は後日お知らせします。

日	曜	行 事 予 定	
7/2	土	地区中体連総合体育大会	団体戦
3	日	// (山崎運動公園)	個人戦
6	水	3年実力テスト	
14	木	SC来校	
14	木	個別懇談会	
15	金	//	
20	水	1学期終業式	
21	木	夏季休業 ~8月31日(水)	
22	金	野外活動 小口自然の家	詳細は後日配付
27	水	野外活動 予備日	